

議会の窓

町の財政は健全かどうか・・・先の町長選でも争点になりました。国は夕張市の財政破綻をきっかけに、「財政健全化法」を制定しました。市町村の財政状況を統一したもので計り、それぞれの市町村の財政が健全かどうか公にしようというものです。

～町の財政は健全？～

- ①実質赤字比率……一般会計と特別会計の一部の会計が赤字であればカウントされます。富士見町は歳出より歳入が上回っていますので、赤字ではありません。
- ②連結実質赤字比率……町の特別会計を含めた会計のすべてを集計して赤字が出た場合、その赤字の町の「標準財政規模」に対する比率です。富士見町は黒字ですので、数字は表示されません。
- ③実質公債費比率……一部事務組合、広域連合などまで含めて、実質的な借金返済金の町の標準財政規模に対する比率です。18%を超すとイエローカード、25%を超すとレッドカードとされています。
- ④将来負担比率……町の地方債や、パノラマ、土地開発公社などを含めて町が将来負担しなければならない負担の残高(町の基金などを引いて)を町の財政規模に比較して指標化したものです。350%を超すとイエローカードです。

〈平成19年度の財政指標の比較及び富士見町の平成20年度の実績〉

	富士見町 07年	富士見町 08年	茅 野 市	原 村	夕 張 市	王 滝 村
実質公債費比率(%)	13.8	12.6	11.7	14.5	39.6	41.6
将来負担比率(%)	68.4	68.1	104.3	－※	1237.6	250.6

※原村は将来負担額より積立金などが多いため、(－)です。

将来負担比率は、破たん処理に50億円もかかるといわれているパノラマについては5億円、借金が18億円ある土地開発公社については8.6億円で計算されています。これは国の指導によるものです。これに基づく計算で妥当かは疑問が残るところです。

～表紙の写真から～

来年はいよいよ7年に1度の「御柱祭」、日本の3大奇祭と言われるこの祭りも長年の地域の人々の信仰心と熱意と努力で今日まで続けられてきました。これからも諏訪地域がひとつになって、いつまでも心意気あるこの祭りを後世に伝えていきたいですね。

9月21日には、TBSテレビ(東京赤坂)で落合・境・本郷の氏子の皆さんによる御柱PRイベントが行われました。

■議会広報編集委員会
編集委員長 エンジエル千代子
委員長 小 名 織
委員 池 取 田
委員 一 武 昭
委員 夫 一 雄

新しい編集メンバーとなり、2度目の議会だよりです。この議会だよりも皆さんの税金が使われています。議会としてどんな内容をお伝えすればいいのか、悩みながら試行錯誤の発行です。とにかく、皆さんに読んでいただかなければ役に立ちません。今までより一ヶ月早く発行し即効性を高めたり、住民の視点に立った、読んで頂ける議会だよりを目指しています。ぜひ、ご意見をお聞かせください。役場では9月から新町長を迎え、矢継ぎ早に出される指示に困惑もあるかもしれませんが、しかし、町民は「変革」を選択しました。私たち議会もまた、今一度、襟を正すときです。この議会使いが町民と議会の橋渡しの一端を担えれば・・・と願っています。

(エンジェル千代子)

〈編集後記〉